



演奏家とお客様、みんなで「曲」を応援するコンサート

ピティナ・ピアノ曲事典 公開録音コンサート



©Schigeto Imura

和波たかよし

(Vn.)



©堀田力丸

堀沙也香

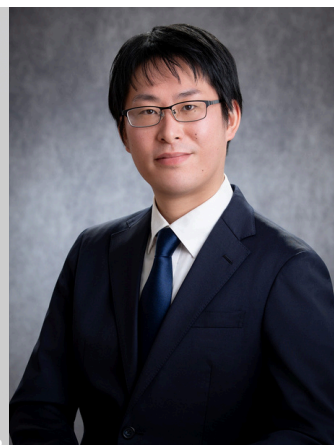
(Vc.)



©Ayane Shindo

土屋美寧子

(Pf.)



高松佑介

(Lec.)

シューベルト連続レクチャーコンサート vol. 11

～没後200年（2028）に向けて～

企画・構成 土屋美寧子

2026.10.2 (金) 19:00開演
(18:30開場)

La Salle F (東京・広尾)

【要予約】 4,000円 (学生2,000円) ☎03-3944-1583

Program

レクチャー 「シューベルトの“三調提示部”と移ろいの美学」 (高松佑介)

演奏 アルペジオーネとピアノのためのソナタ イ短調 D 821

ピアノ三重奏曲 第2番 変ホ長調 D 929

(土屋美寧子 (Pf.)、和波たかよし (Vn.)、堀沙也香 (Vc.))

高松佑介 (レクチャー)

千葉工業大学未来変革科学部 (教育センター 言語文化教室) 助教、青山学院大学や慶應義塾大学などでも教鞭を執る。スイス・チューリヒ大学にて、シューベルトの器楽曲における中間楽章に関する研究で博士号 (音楽学) を取得。専門は西洋音楽史、とりわけ19世紀ドイツ語圏の音楽。訳書: ハンス=ヨアヒム・ヒンリヒセン『ブルックナー 交響曲』(春秋社)。これまでにピアノを大森文子氏、土屋美寧子氏、井上直幸氏、アヴォ・クコムジャン氏らに師事し、第59回全日本学生音楽コンクール東京大会ピアノ部門高校の部第2位 (2006年)、第15回日本モーツァルト音楽コンクール一般の部第3位 (2011年) などを受賞。

土屋美寧子 (ピアノ)

東京藝大、ライプルク音大卒。和波とのデュオで国内、国外で演奏を続けているほか、ピアノトリオなどの編成でも多くの演奏家と共演し、室内楽奏者として信頼を得ている。加えて東京では隔年ごとにテーマを定めたピアノソロリサイタルを開催し、演奏と企画の両面で高く評価されている。2026年は11月に「受け継がれる舞曲、ひろがる詩情」と題して開催する。「八ヶ岳サマーコース・室内楽クラス」「室内楽セミナー」「室内楽勉強会」を主宰して指導に当たっているほか、ピティナピアノコンペティションなどの審査員を務めている。

和波たかよし (ヴァイオリン)

日本音楽コンクール第1位・特賞。パリのロン=ティボー、ロンドンのカール・フレッシュ国際コンクール上位入賞。1963年のデビュー以来、国際的に幅広い活動を展開。国内外の主要オーケストラと数多く協演、またピアニスト土屋美寧子とのデュオ、東京での「クリスマス・バッハシリーズ」や「アフタヌーンコンサート」の開催、サイトウ・キネン・オーケストラへの参加など多彩な活躍を続ける。2026年は自ら主宰する「八ヶ岳サマーコース&コンサート」の第40回記念コンサートを地元、長坂に加え東京でも開催。文化庁芸術祭優秀賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章、旭日小綬章などを受章。

堀 沙也香 (チェロ)

東京音楽大学付属高等学校、同大学を卒業。在学中7年間、特待生奨学金を受ける。松波恵子、岩崎洗両氏に師事。第76回読売新人演奏会に出演。その後、桐朋学園大学院大学にてさらに研鑽を積む。NHK-FMリサイタル、毎日新聞主催小児ガン制圧チャリティーコンサートをはじめ、数々の演奏会に出演。別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャパンなどにも参加している。2011年より各年で父・堀了介と共に中国より招聘され、大連・瀋陽にて演奏会を開く。父とのデュオCD『花のワルツ』、『アヴェ・マリア』をリリース。ソロ、室内楽、オーケストラ、音楽朗読劇など、多方面にわたり活動中。東京チェロアンサンブルメンバー。

シューベルト連続レクチャーコンサート全公演プログラム レクチャー：高松佑介

2021/11/18 「転調の魔術師シューベルト」
Piano Sonata No. 1 D 157, E-dur: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 21 D 960, B-dur: 栗田みなみ
2022/2/10 「シューベルトの“初期”と家庭音楽」
Sonata for Pf & Vl: 土屋美寧子、和波たかよし
D 384, D-dur, D 385, a-moll, D 574, A-dur
2022/11/18 「音楽の“トポス”を考える
——ジャンルや調による解釈の可能性」
Piano Sonata No. 2 D 279, C-dur: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 20 D 959, A-dur: 藤本紀子
2023/3/20 「シューベルトのジャンル観
——“ソナタ”と“幻想曲”の狭間で」
Piano Sonata No. 3 D 459, E-dur: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 18 D 894, G-dur: 植田克己
2023/11/2 「シューベルトのリズム法」
Piano Sonata No. 4 D 537, a-moll: 川津直子
Piano Sonata No. 17 D 850, D-dur: 土屋美寧子

2024/3/14 「シューベルト作品における“カタストロフィー”」
Piano Sonata No.5 D 557, As-dur: 藤田祥子
Fantasy for 4 hands D 940, f-moll: 土屋美寧子、高松佑介
Allegro („Lebensstürme“) D 947, a-moll: 藤田祥子、土屋美寧子
2024/10/30 「シューベルトの“楽譜”
——エディションや記譜法・演奏法」
Trio D 28, B-dur, Trio No. 1 D 898, B-dur:
土屋美寧子 (Pf.)、和波たかよし (Vn.)、荒庸子 (Vc.)
2025/3/10 「シューベルトの“中期”と友人サークル」
Piano Sonata No. 6 D 566, e-moll: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 14 D 784, a-moll: 荒川浩毅
2025/11/21 「シューベルトの変奏技法とプロセス思考」
Piano Sonata No. 7 D 568, Es-dur: 小形然
Piano Sonata No. 15 D 840, C-dur: 土屋美寧子
2026/2/13 「断章作品は“未完成”か? ——様々な“未完成”について」
Piano Sonata No. 8 D 571, fis-moll: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 12 D 655, cis-moll: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 13 D 664, A-dur: 高松佑介

2026/10/2 「シューベルトの“三調提示部”と移ろいの美学」
Sonata for Pf & Arpeggione D 821, a-moll
Trio No. 2 D 929, Es-dur
土屋美寧子 (Pf.)、和波たかよし (Vn.)、堀沙也香 (Vc.)
2027/2/19 「シューベルトの“後期”」
Piano Sonata No. 9 D 575, H-dur: 土屋美寧子
Piano Sonata No. 16 D 845, a-moll: 高橋ドレミ
2027/秋 「シューベルトと先達たち」
Piano Sonata No. 10 D 613, C-dur: 栗田みなみ
Piano Sonata No. 19 D 958, c-moll: 土屋美寧子
2028/春 「シューベルトの引用技法」
Sonata for Pf & Vl D408, g-moll
Fantasy for Vl & Pf D 934, C-dur
和波たかよし (Vl.)、高松佑介、土屋美寧子 (Pf.)
2028/秋 「後世によるシューベルト受容」
Piano Sonata No.11 D 625, f-moll
Wanderer Fantasy D 760, C-dur

FAX申込書 (03-3944-8838) ※TEL: 03-3944-1583

シューベルト

連続レクチャーコンサート vol. 11 (2026/10/2)

一般 席・学生 席

予約方法—Web、お電話、FAXのいずれかでお申し込みください

①「Peatix ピティナ公開録音コンサート」または右のQRコードから検索。

②公演日とお支払い方法
(クレジットカード・コンビニ・銀行振込) をご選択の上、お客様情報をご入力ください。

③お支払い後発行される電子チケットを当日スマートホン画面上で表示いただくか、印刷してお持ちください。

④学生券をお求めの方は当日学生証をご提示ください。

※お電話・FAX申込の場合、チケット料金は当日のお支払いとなります。キャンセルの場合は速やかにご一報下さい。

フリガナ

氏名

E-mail

@

※できるだけメールアドレスをお書きください

FAX (任意)

TEL (任意)

住所 (任意) 〒 ()